

2019(令和元)年度

松山大学・カルスポ公開講座

「一般教養」

「新時代の幕開けと地域活性化」

受講案内



愚陀佛庵

主催

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団、松山大学



〒790-8578 松山市文京町4番地2 TEL089-925-7111 (代表)

<https://www.matsuyama-u.ac.jp/>

学び舎えひめ 悠々大学

ご 案 内

「新時代の幕開けと地域活性化」

バブル経済の後始末と新時代の進路の模索に苦しんだ30年余の平成が終わり、ポスト平成の有り様を議論するにはよい機会かもしれません。失われた10年、さらに20年といわれながら、令和元年の今日に至っても依然、デフレ経済脱却は果たせておらず、新たな成長戦略も描き切れてはおりません。転換期にある日本経済には、人口減少、非正規労働者問題、外国人労働者問題、AI対策等々、将来に対して悲観的な情報が少なくありません。

他方、「人生100年時代」などと喧伝され、今後、仕事人生の長期化が避けられない事態となっております。高度情報化の流れは日進月歩で、たった4年間に過ぎない大学での学習、さらに就職後、20代の若手の時期に培った知識・技能、これらを基礎にキャリアを積み上げ、定年まで働き続けるといった雇用ビジョンが難しくなってきました。絶えず知識や技能のバージョンアップが欠かせなくなっております。この講座では、多方面から講師陣をお迎えし、地域経済や地域活性化をテーマに、新しい学びの場を提供することが狙いです。皆さまのご参加お待ちしております。

要 項

- 開 講 日 2019(令和元)年10月2日(水)～2019(令和元)年12月18日(水)
全12回 (野外研修を除く)
- 場 所 松山大学樋又キャンパス2階 H2A 教室
- 時 間 18:30～20:00
- 定 員 120名(受講希望者多数の場合は抽選とします)
- 受 講 料 2,000円(初回講義の際にお持ちください) ※2,000円で12回の講座全てを受講できます。
- 対 象 者 松山市内に在住又は松山市内に勤務している人で18歳以上の方(学生は除く)
- 申 込 方 法 はがきに次の事項を記載し、下記までお申し込みください。
①講座名(「松山大学・カルスポ公開講座:一般教養」とご記入ください)
②氏名(ふりがな) **氏名のふりがなは必ずご記入ください。**
③性別、生年月日(西暦表記)
職業(a.公務員 b.会社員 c.自営業 d.主婦 e.アルバイト・パート
f.契約社員(派遣・臨時含む) g.無職 h.その他) **記号のみでも可。**
④自宅の郵便番号・住所・電話番号
⑤勤務先名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号
(⑤は松山市外在住者のみ記入してください)
- 申 込 先 松山大学社会連携課「松山大学・カルスポ公開講座(一般教養)」係
〒790-8578 松山市文京町4-2
- 申 込 締 切 2019(令和元)年9月10日(火)午後5時必着
- 修 了 証 所定の回数以上出席された方には修了証を発行します。
- 問 合 せ 先 松山大学社会連携課 神岡・村井
TEL(089)926-8246
E-mail:mu-renkei@matsuyama-u.jp

※お申し込みいただいた方の個人情報は、本講座に関する連絡業務および今後の松山大学・カルスポ公開講座のご案内のみに利用させていただきます。



2018年度 講義の様様

本事業は公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団の委託事業として松山大学が実施しています。



本公開講座は愛媛県生涯学習センター「学び舎えひめ悠々大学」対象講座です。

プログラム

学び舎えひめ 対象講座

回数	日程	担当講師	テーマ・内容
1	10月2日 (水)	松山大学経済学部教授 松本 直樹	人材マネジメントの在り方を中心とした日本の労働・雇用問題 人生100年時代といわれ、仕事人生の長期化が避けられない事態となっています。他方で、グローバル化や人工知能(AI)といった高度情報化の流れは日進月歩で、これまでの雇用ビジョンが難しくなってきました。その延長線上に「働き方改革」があります。今回、単にニュースや時事問題を解説するのではなく、経済学の理論を分かりやすくご紹介した後、その応用として終身雇用制下における年功序列賃金制の是非、非正規雇用とサービス化経済といった労働・雇用問題への適用を試みます。
2	10月9日 (水)	東レ株式会社 愛媛工場 工場長 村地 敏	東レグループ、愛媛工場の概要と環境への取り組みについて 東レグループの概要、東レの経営方針、研究・技術開発とグローバル展開(研究・技術開発の取り組み、グローバル展開、長期視点での事業推進、ベストパートナーとの連携、人材育成)について。愛媛工場の概要、工場運営方針、主要課題等、製造している製品(炭素繊維「トレカ」、繊維(短繊維)など)、環境への取り組み(排水、ゼロエミッション、省エネなど)について。
3	10月16日 (水)	株式会社アテックス 代表取締役会長 村田 裕司	開発は夢ひらく 平成の30年間、バブル経済が崩壊してデフレ不況の長いトンネルに入り、ITという新たな産業が生まれ産業構造が大きく変革した。ものづくりは生産拠点が海外に移され空洞化が進み地域を代表するような老舗企業が退場していった。当社は創業以来、自社開発にこだわり、大きな節目に新商品が開発され難局を乗り切ってきた。「開発は夢ひらく」という信念のもと令和の時代も新たなものを創造していく。
4	10月23日 (水)	松山大学経営学部教授 東淵 則之	新時代に求められる企業経営のフレームワーク「成長ドライバ理論」を学ぶ これからの時代は、ますます「人(社員)を大切に」かつ「業績もあげる」ことが求められる時代になります。私は、20年以上にわたり、多くの中堅中小企業の協力を得て調査研究を積み重ね、このための実践的な経営理論として「成長ドライバ理論」を開発しました。有り難いことに、多く経営者や経営支援者の方々から非常に経営に役に立つという評価を頂いています。この回では、成長ドライバ理論を解説します。
5	10月30日 (水)	DCMダイキ株式会社 商品計画推進統括部 産直部 部長 若宮 祐司	DCMの紹介とビジネス環境の変化対応 小売業界を取り巻くビジネス環境は、「少子高齢化」「人口減少」「ECの台頭」など、過去に例がないスピードで変化している。これらの環境変化に対応するため、小売業界は大再編時代に突入した。各企業が、再編・合併・連携などを行いながら生き残りを図る中で、我々DCMグループがホームセンター業界で成長していく為の戦略と、ビジネス環境の変化を前向きにチャンスと捉える取組の一例をお話しいたします。
6	11月6日 (水)	株式会社マクアケ 共同創業者 / 取締役 坊垣 佳奈	新しい価値を生み出す新しい手法 ～「Makuake」地方の最新事例と具体的活用方法について～ 「より良いものづくり」と「それらが話題になり売れること」が比例しないのはなぜか？ 過去5,000のプロジェクトを通して、日本の現状の大きな課題と、その解決方法が見えてきました。「クラウドファンディング」という言葉の認知が広がり活用が広がる今、その正しい活用方法と具体的事例を知っていただき、本来生まれるべきものが生まれ、売れるべきものが売れ、残るべき技術が残っていく、その未来を一緒に作っていくためのお話をさせていただきます。
7	11月13日 (水)	株式会社伊予銀行 地域創生部 課長 野本 哲郎	サイクリングで広がる地域ビジネス 自転車・サイクリングを通じた地域経済の活性化について考えてみたいと思います。愛媛県は、自転車新文化の創造を理念とし、健康・生きがい・友情づくりをキーワードとして「交流人口の拡大による地域経済活性化」を目指しています。サイクリングしまなみ大会などを通じて愛媛県がサイクリングの普及や推進をする中でどのような地域ビジネスが生まれているか見ていきたいと思います。
8	11月20日 (水)	愛媛大学大学院理工学研究所 教授 岡本 伸吾	AI(人工知能)の現状と将来 「AIがプロ棋士に勝った」、「AIが医師を超える速さと精度で画像診断を行った」等、AIが人間を超えたというニュースを耳にすることが多くなりました。しかし、現状はAIが苦手なこととはたくさんあります。本講座では、現在、AIが得意なことや苦手なことについて事例をあげながら紹介します。最後にAI社会の未来はどうなるのかを一緒に考えてみましょう。
9	11月27日 (水)	株式会社エス・ピー・シー 代表取締役社長 岡田 克志	タウン情報誌と地域マーケティング Seeds of Pleasure in Country(地域のシアワセの種)を探し、集め、育てる。情報という種で、地域にシアワセを広げたい。人と街が笑顔でつながる、そんな元気な地域づくりをめざして45年。出版不況が続く、雑誌が減少する中、「日本最古のタウン情報誌」となった「タウン情報まつやま」を発行する株式会社エスピーシーの取組みと、今後の地域マーケティングとコミュニケーション戦略について。
10	12月4日 (水)	道後御湯・ホテル椿館 代表取締役 宮崎 光彦	道後温泉本館保存修理工事の行方 ～本館だけに頼らない観光まちづくり～ 2期7年間にわたる本館工事が、いよいよ今年から始まりました。観光客の減少や地域経済へのダメージが危惧されており、道後の真価が問われるときです。「伝統は革新の積み重ね」をキーワードに、各旅館ホテルの耐震化新築工事による商品力強化や歴史漂う景観まちづくりによるブランド力向上など、まさに新時代における道後温泉の地域活性化について考察、展望したいと思います。
11	12月11日 (水)	四国開発フェリー株式会社 業務部長 蝶野 文雄	新たなフェリーの挑戦 奇しくも令和新時代に合わせるようにオレンジフェリーは愛媛～阪神間に大型新造船2隻を就航させ、同時に東予港に新フェリーターミナルも建設しました。企業として大きな投資を決断しましたが、安全運航という絶対使命のもと、持続可能な経営と地域経済活性化への貢献の両立を目指すなかで、新しいフェリーは何をどう運ぶのか、特長をどのように生かし利用促進を図るのか、課題と実践についてお話ししたいと思います。
12	12月18日 (水)	帝人株式会社 松山事業所 地域連携室室長 山本 真也	Always Evolving、変革と挑戦の100年 帝人は1918年にレーヨン(人造絹糸)製造のベンチャー企業としてスタート。以来基盤技術の高分子化学をベースとし「変革・挑戦」を合言葉に様々な技術・製品・事業をグローバルに展開。昨年が創業100周年であり、次の100年を見据え「FUTURE NAVIGATIONー未来の社会が必要とする新たな価値を創造し続ける会社」を旨とし新たなスタートをきった。その帝人と国内マテリアル事業の生産・開発拠点の松山事業所の歩みや取組みを紹介いたします。
野外研修	10月26日 (土)	松山大学経済学部教授 松本 直樹	貸切バスにて野外研修 ※自由参加 日帰りの野外研修を予定しています。 詳細は、初回講義にてお知らせします。 ※参加は自由ですが、5,000円程度の参加費が必要です。

■受講されるみなさんへ

<教室のご案内>

松山大学樋又キャンパス 2階 H2A教室

*教室を変更する際は、前回の講義時、あるいは当日掲示にてお知らせします。

なお、当日教室の分からない方は、正門・西門・樋又キャンパスの守衛室へお問い合わせください。

<駐車場のご案内>

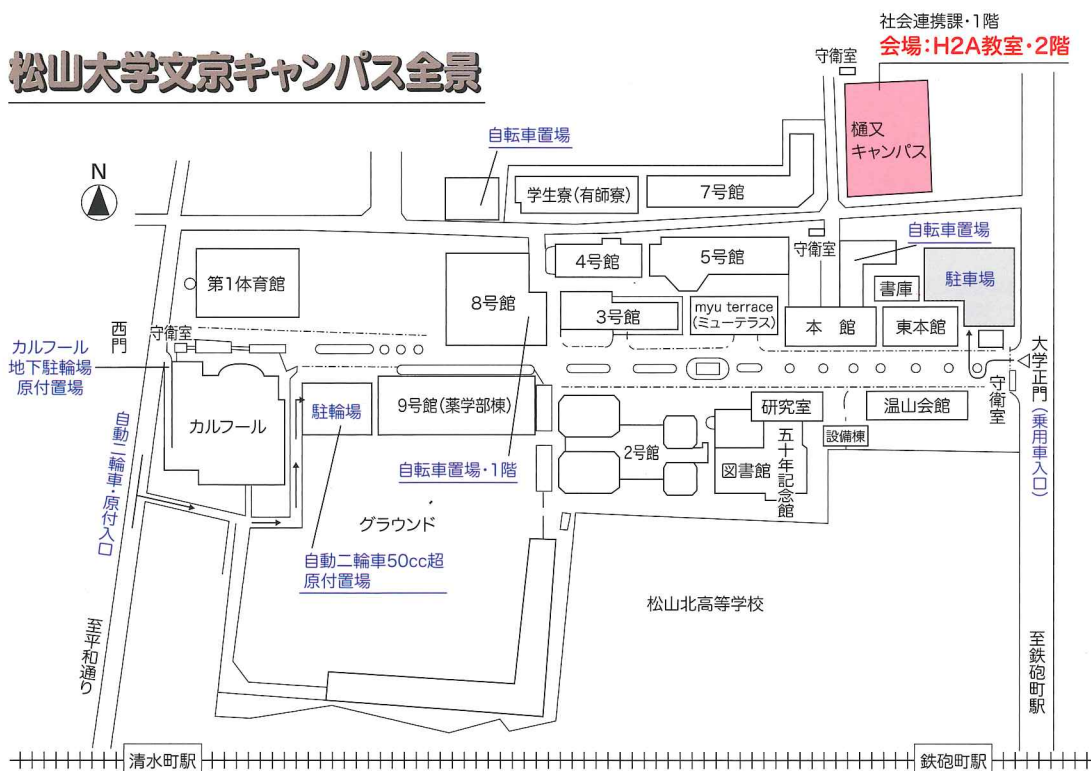
学内の駐車スペースには限りがあります。原則として公共交通機関をご利用ください。遠隔地、時間の関係で公共交通機関が利用できなくなる方、その他特別の事情がある方で、駐車を許可された方以外は学内に駐車できませんのであらかじめご了承ください。自転車・バイクをご利用の方は、所定の場所に駐輪してください。遵守できない方は乗り入れをお断りすることがあります。

*学内への駐車を希望される方は、第1回講義(10月2日)時に「学内自動車乗り入れ許可申請」を行ってください。許可者には「学内自動車乗り入れ許可証」を交付いたします。

<講義開始時間>

講義は午後6時30分から始まります。時間厳守でお願いします。

松山大学文京キャンパス全景



伊予鉄市内電車環状線「清水町駅」または「鉄砲町駅」下車徒歩5分